

2022 年度(令和 4 年度)
事業計画

社会福祉法人 豊友会

時代の変化への対応⇔一人ひとりのやりがいと成長

「主な目標」

みえるか=情報共有・データ管理

わかるか=マニュアル見直し・簡素化

できるか=実践・スケジュール

1. 概況

1-1 after コロナを見据えて

コロナは社会生活に大きな変化をもたらしました。after コロナ、with コロナへの対応をしっかりと考え、少子高齢時代における法人の役割について、中長期的な視点のもとで事業展開をすることが重要になってきました。

2022 年 4 月には、東京都で 2 園開園し、首都圏も 5 園となり、法人としての役割を一層充実させると共に、各地域の特性を生かした事業を構築、実践していく所存です。

従来からの保育・教育目標である一人ひとりを大切に、こどもの主体性の育成に取り組むと共に、職員のなお一層の質向上、園長・主任・主幹等の人材育成が喫緊の課題となっており、具体的な取り組みを行っていくこととしたい。

地域に密着した事業展開と共に、ネットワークをさらに強化して、共生していく基盤整備を行っていくこととしたい。

1-2 中長期計画の策定

少子高齢時代において、社会や家庭を取り巻く環境は多きく変化してきています。労働環境の変化は、子育て支援諸施策により、待機児童問題も転換期を迎え、法人や施設としてのあり様が問われています。

5 年後、10 年後の姿を視野に法人としての存在意義を改めて考え、職員がやりがいを持ち、関係者が成長し、地域になくてはならない「Only1」コミュニティの創造を目指すための体制整備を行うこととしたい。

1-3 組織改革

現場が活動しやすい組織編成を模索し、施設・エリア・本部の役割を明確化し、責任と権限についても改めて検討し、スムーズな運営と効率的な組織体制整備の検討を行います。その一環として、エリアごとに総括園長を配置し、役割についても検討を加えていく所存です。施設・エリア・本部の人材採用及び育成も急務であり、対応を行っていくこととしたい。

1-4 業務効率化

ネットワークシステムの強化を行い、セキュリティに配慮しつつ、連絡ツールとしての活用を図ります。ペーパーレス化も推進し、経理や給与等についても抜本的な見直しを行います。仕事の効率化はもとより、ミスの改善など具体的な取り組みを推進します。会議においても、1時間以内を基本として、情報共有と共に理解・納得感の向上を目指します。

1-5 キャリアパス

現在、保育士・保育教諭のキャリアパスは策定されていますが、看護、栄養・調理、事務等のキャリアパスはいまだ策定されていません。

職種ごとのキャリアパスを策定し、目標設定をしっかりと行いそのプロセスや人事評価制度への連関を模索し、具体案の策定を行いたいと思います。

1-6 人材育成

研修を充実させ、専門職の質の向上に加え、職員がやりがいをもった取り組みが出来るように体制の整備を行いたいと思います。

特に、園長・主任等のマネジメント力育成は急務であり、対応していくこととしたい。

職場での悩みや相談についても、SNSなどを活用した環境整備を行い、体調不良者の予防に努めることも肝要となっており、具体的な対応を行っていききたい。

1-7 PDCAの徹底

「失敗は成功のもと」失敗の中から、人は多くのことを学び、改善・向上に努めるものです。失敗を恐れずにチャレンジ精神を大切にして、何事も取り組んでいきましょう。

素直な心構えで何事も取り組んでいき、お互い分かち合い、助け合うことを基本に、PDCAサイクルが循環できる環境整備を進めていきたい。

1-8 SDG 'S 対応

持続可能な社会をつくることは非常に大きなテーマとなっています。こどもに関するテーマも多く、今後の社会を生き抜くためにも大変重要な事項となります。

まずは、職員は意識を高め、ロス低減に努めた活動を行い、こどもの貧困対策、地域貢献活動などに努めたい。

1-9 施設整備等

〔豊岡エリア〕

バンビーノ保育園が開園2年目を迎え、チャイルドハウスこども園との連携を一層深め、保育教育の内容充実に努めることとしたい。テラスハウス保育園、スプリングハウス保育園では保育環境のなお一層の整備を進め、スマイリーハウス保育園では、キッズガーデンとも連携充実を図っていくこととしたい。

課題としては、チャイルドハウスこども園の定員超過が著しく行政との連携を踏まえて、解決に向けた方策を検討していくこととしたい。また、隣地駐車場についても今後の展開について、具体化策を検討していく。

〔神戸エリア〕

村雨こども園においては、なぎさ分園の整備に伴い、周辺環境を整えているところであるが、開園11年目を迎え、保育室の床、給食室の改修など環境整備が必要な個所が増えてきている。また、壁面整備など大規模修繕が必要な状況にもなっており、検討をしていくこととしたい。

松風児童館において、在宅勤務等の影響もあり、年度途中の児童数の減少数が著しいことから、抜本的な改善策を講じる必要がある。地域になくってはならないコミュニティ創造に向けた取り組みを推進したい。

「おやこふらっとひろば須磨」については、運営受託3年目を迎え、あり方について一層研究していきたい。令和5年度以降の事業継続に向けて、検証・改善を行い、具体策を検討し、前向きに取り組むこととしたい。

村雨ほほえみ保育園では、小規模保育事業の特性を活かし、きめ細かな保育を行っているが、今後の活動展開について、検討を加え、なお一層の充実に期したい。

〔首都圏エリア〕

首都圏においては、4月より、東京都でおおつかほうゆう保育園（豊島区）、もんなかほうゆう保育園（江東区）の開園を予定している。また、保育体制の見直しや今後の取り組みについて、なお一層工夫が必要である。

さいたま保育園において、諏訪ひかり保育園との連携を深め、相互に交流、研鑽を図りながら、なお一層の充実に努めることとしたい。諏訪ひかり保育園については、幼保連携型認定こども園に向けた取り組みを継続して行い、園庭整備など教育保育環境の整備に努め、研修にも注力することとしたい。

つくしんぼ保育所については、保育環境のなお一層の充実と共に、研修の拡充等により、前向きに対応をしたい。

2. 重点施策

2-1 人材育成

施設長、主任保育士・主幹保育教諭など園の経営を担う、人材育成について特に注力して

いくこととしたい。

- ① 施設長等管理職育成
 - ・施設長の役割、心得周知
 - ・研修強化
- ② 主任保育士・主幹保育教諭育成
 - ・園の中での役割明確化
 - ・中堅管理職の育成プログラム
- ③ 新任職員育成
 - ・新任職員研修プログラム
 - ・チューター制度の活用
- ④ 法人事務職員等専門性の向上
 - ・法人事務職員プログラム
 - ・専門性向上研修
- ⑤ 業務委託先の検討
 - ・人事
 - ・経理
 - ・コンサルティング
- ⑥ 後継育成
 - ・施設後継育成
 - ・法人後継育成

2-2 就業規則・給与規定・キャリアパス

現在の就業規則を抜本的に見直し、2023年度以降に順次移行することとしたい。

地域や施設ごとで、開園時間等が異なり、就業時間、就業日数、年間休日等についても検討し、給与等についても公平性を担保した取り組みを行うこととしたい。

- ① 職種ごとのキャリアパスの策定
- ② 各種規則の抜本的な見直し・改定
- ③ 人事評価体制（評価者育成・研修等含む）
- ④ 自己報告、個別面談等の仕様について検討

2-3 処遇改善

- ① 基本給等の処遇改善臨時特例事業の活用
 - ・基本給の明確化（調整手当等の整理）
- ② 職務手当・役割手当などの適正化
 - ・役割に応じた手当の支給
- ③ 賞与などの適正配分
 - ・賞与支給の配分基準
- ④ 常勤職員・嘱託職員・非常勤職員
 - ・区分明瞭化

- ・職務替え時の対応(非常勤→常勤等々)
- ⑤ 非常勤職員の処遇改善
 - ・被扶養範囲内勤務希望の申し出職員への対応(退職金支給制度創設検討)
 - ・担任等常勤職員と職務内容が同一な職員への賞与支給検討
- ⑥ 住宅手当
 - ・行政施策の積極的な導入
- ⑦ 処遇改善Ⅰ及びⅡのキャリアパスとの連動と効果のある活用の仕方
 - ・処遇改善への取り組みをキャリアパスに組み込む

2-4 人材確保

- ① 各自治体等行政施策の積極活用(調査・要望、情報収集)
- ② 保育実習生への対応見直し
 - ・実習生へのレクチャープログラム
 - ・現職との懇談の場を検討
- ③ 職員採用の在り方の内容検討
 - ・地域や大学・専門学校との連携
 - ・職員採用の内容改善
- ④ 地域における各施策の実施・検討
 - ・就職祝金(10万円)
 - ・引越費用の支出(15万円～30万円)
 - ・保育士紹介(紹介者へ1年勤務後支給8万円)
- ⑤ WEBの積極的な活用(抜本的な見直し)
 - ・ホームページ
 - ・検索機能強化
 - ・SNSの活用
 - ・情報発信ツール
 - ・コンテンツ制作(例・保育士の一日など)
- ⑥ 求人媒体の活用
- ⑦ 求人活動の活性化

2-5 福利厚生の充実

- ① 各種の情報提供
- ② 働きやすい職場環境整備
- ③ やりがい創出

2-6 保育・教育の質向上

- ① 施設における保育・教育目標の明確化
- ② 保育目標への具体的な取り組み PDCA サイクルの確立

- ③ 保護者・家庭への説明責任
- ④ 地域貢献
- ⑤ 必要不可欠な存在

2-7 スケジュール管理

- ① 会議の効率的な開催・周知
- ② 計画的な実践
- ③ 理事会・評議員会
- ④ 施設長会議等の定例化
- ⑤ 企画会議の定例化
- ⑥ 期日厳守

2-8 情報共有

ネットワークシステムが更新時期を迎え、システム充実を行う。

- ① ネットワーク活用と改善
- ② 法人と施設の情報共有
- ③ 施設間の情報共有

2-9 中長期計画の策定（将来ビジョン）

- ① 法人全体としての中長期計画を 2022 年度中に策定する。
- ② 施設の中長期計画の策定（2022 年度中策定）
- ③ 策定プロセス（委員会設置等）

3. 法人と施設の機能分担・役割

3-1 法人と施設の役割・機能

法人本部の事務局機能の再編統合と共に、施設との連携、円滑な経営・運営の遂行に向けた取り組みを強化する必要がある。エリアや施設の特性を活かしつつ、本部機能との連携を図り、ガバナンスをしっかりと行う体制を構築する。

各種の規定、マニュアル等を全面的に見直し、セキュリティ強化と共に、業務効率化を推進する。

（1）施設で主に行うもの

- ① 保育料(利用料)等の収納方法、ダブルチェック
→ 収納方法の見直し
- ② 各種補助金申請
- ③ WEB の活用
→ 各施設で WEB 活用、ホームページ構築、更新⇔法人とのリンク
- ④ 勤怠管理・勤務時間掌握
→ 月ごとで取りまとめ・本部へ報告

(2) エリアごと

- ① リクルート(求人関係)
→ 求人戦略の抜本的な見直し
- ② 自己報告・個別面談
- ③ 情報収集
- ④ 新規事業展開

(3) 本部

施設・エリアの情報を取りまとめ、ネットワークを強化し、相互連携を促進する。

- ① 人事管理(入職・退職業務の厳格化)
→ 入職・退職業務の円滑化
- ② 各種連絡業務(情報保護の徹底、セキュリティ・イントラネットの再構築)
→ 法人としてのセキュリティ強化

3-2 法人本部

法人本部について、「法人事務」「経理」「人事」「企画」に再編成し、役割分担及び責任の明確化を図る。また、新規事業、研修、コンプライアンスについても情報共有を図り、相互で向上できる環境整備、体制を整える。

【責任を持った対応】＝【期日内での応答】を是とする体制を構築する。

(1) 法人事務

理事会、評議員会、コンプライアンス委員会など各種会議の開催準備、議事録作成を行うと共に、行政関係資料の作成、提出を行う。その他、行政関係、団体関係対応を行う。

(2) 経理

予算及び決算を編成する。日常の経費支払、給与支払業務、補助金申請（法人関係）を掌握し、月次試算表を策定、元帳等を作成、整理する。その他、各施設の経理関係を掌握、指導する。

施設との連携を強化し、予算遂行状況について、月次の連絡連携を強化する。

(3) 人事

- ① 人事関係書類を整理し、社会保険や雇用保険等を管理する。
- ② 入職、退職時の関係書類対応を行う。
- ③ 給与に関しては、各施設と連携して、給与明細を作成し、経理へ提出する。
- ④ 社労士事務所との連携

(4) 企画

- ① 広報活動、採用関係を統括する。
- ② 各施設・エリアと連携して、行政機関、各団体の対応を行う。

(5) コンプライアンス・研修

- ① 各施設で対応しかねる事案への対応

- ② 予防措置研修
- ③ 法人研修の実施

(6) 新規事業

- ① 新園開設、新規事業については、理事長特命として各エリアで対応する。
- ② 就労支援事業
- ③ 派遣、紹介に関する事業
- ④ 外国人材育成、活用に関すること
- ⑤ ファミリーハウス
- ⑥ こども食堂

3-3 施設事務

(1) 施設事務

各施設で行うべき事務について、現状把握を行うと共に、多層防護・ダブルチェックを励行し、利用者等に迷惑のかからない体制を確立し、業務の標準化を推進する。園長、主任等と連携して施設事務を掌るものとする。

- ① 受付事務
- ② 一般事務(各種受入・申込受理処理、軽微な書類作成)
- ③ 利用料等の確認(必要に応じて入金チェック)
- ④ 収納金融機関等との連携
- ⑤ 請求書・領収書の整備→振込表の作成
- ⑥ 出勤簿、超過勤務、勤務時間の把握
- ⑦ 現金出納・管理
- ⑧ 職員関係書類の整備
- ⑨ 施設補助金申請
- ⑩ その他

(2) 本部との連携

施設事務を遂行する際に、本部との連携を密に、情報保護の徹底と共に、ミス遺漏のないように注意する。

現状マニュアル等を確認し、期日を厳守すると共に、日々の業務改善、効率化に努める。

(3) 業務改善

法人・エリア・施設の役割分担、機能に関しては、常に業務改善を心がけ、ヒューマンエラーの最少化、ダブルチェック体制の整備、環境充実を目指すものとする。案件については、本部事務会議、施設長会議(各地域含む)等を通じて、協議を行い、業務の円滑化に向けた体制を整備し、実行する。

4. 事業推進体制(理事会・評議員会等)

法人と施設の機能強化及びガバナンスの整備、コンプライアンス態勢の充実を確実に進

め、内部統制・情報保護・情報共有の充実を図り、従来不明確であった業務内容を整理し、効率化、事業の積極的な推進を図るものとする。

各地域の事情を考慮しながらも、法人理念を確認・周知し、地域・施設に合致したマニュアル策定・見直し、事業推進を行うものとする。

(1) 理事会（理事長召集）

事業計画・報告、予算・決算など基本計画を策定し、評議員会等で承認後、事業の円滑な運営を行うための執行機関としての役割を担うことになる。

施設の実態に即した経営を心掛けると共に、法人全体としての調整・推進を行う体制を整備する。理事会は、年6回程度開催予定。

(2) 評議員会

事業計画・報告、予算・決算など法人運営を監督する機関であり、年2回程度開催する。理事を選任すると共に、執行機関である理事会からの提案について、審議を行う。

(3) 評議員選任・解任委員会

評議員を選任・解任する機能を有する。ガバナンス、人事について全体を把握し、必要に応じて、評議員を選任若しくは解任する。理事会において選考された評議員候補を審査し、決定する。

(4) コンプライアンス委員会

コンプライアンスの構築及び内部統制・情報共有、情報保護、職員の処遇等に関する諸課題について、助言及び提言を行い、必要に応じて職員への周知活動を積極的に推進する。年1回開催すると共に、案件に応じて開催する。

(5) 施設長（園長・代表・園長代理等）会議

各施設の責任者による状況連絡、情報交換を行うとともに、業務改善について協議を年4回程度行う。（理事会、コンプライアンス委員会時同時開催含む）

(6) 法人事務会議

法人本部各担当による会議を行い、業務の進捗状況を確認すると共に、各施設の状況等に関して、情報共有し、調整する。

円滑な運営、健全経営、業務改善等に向けた具体的な施策、計画推進、実践活動に結び付ける。毎月1回開催する。

(7) 首都圏企画会議

首都圏企画会議の定例的に行い、業務の進捗状況を確認すると共に、新規事業、採用、広報、研修及び各施設の状況等に関して、情報共有し、具体的な取り組みを行う。

(8) 各施設職員会議（各園開催）

保育、行事、避難訓練、報告、各種会議の報告・協議内容、研修報告、ケース会議など全職員が参加して、毎月1回開催する。必要に応じて、理事長が出席する。

(ア) 会議については、各施設で設定を行い、円滑な運営を行う。

(イ) 給食・食育会議、クラス会議、その他会議の開催については、園長若しくは園長補佐、主任の了解を必要とする。

- *いずれの会議、委員会については、「会議のための会議にならないように、保育・教育の充実に結びつくような」実践的な内容を心得、事前に資料準備等を行い、効果的、効率的な運用を行うものとする。(5W2Hの共有)
- *通常の会議は概ね1時間以内を目安に実施する。
- *年間の会議スケジュールを計画し、円滑な業務推進を図るものとする。
- *ZOOM会議など、オンラインの活用を推進する。

5. 諸規定の見直し・改正及び業務推進の改善

5-1 社会福祉法人制度改革の定着・推進

社会福祉法人制度改革について、法令遵守を確認するとともに、随時改善を図る。理事、評議員等の役割、機能について、実践的な取り組みを行う。

また、保護者に対する対応指針についても整備し、今後も必要に応じて制定、改善に努めていくものとする。

5-2 経理・会計の充実

社会福祉法人会計が新会計基準に移行し、平成28年度決算より適用されているが、現在の経理システムを抜本的に見直し、電子申請を備える。経理規則も改正し、専門家についても検証を加えて、今後の対応を検討したい。

5-3 役員報酬規程の見直し

役員数がおよそ300名となり、法人機能の強化と共に役割の見直し、事業推進体制を構築するために、理事業務について明確化し、役員報酬の改正を行う。

5-4 内部統制

ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）に代表される業務の円滑な推進に対しての取り組み姿勢を大切にしながら、「文書化」→「電子化」→「データ管理」を徹底し、記録をしっかりと行うとともに、ダブルチェックも十分に行うこととする。意思決定についても、なお一層迅速化、円滑化を図るものとする。

5-5 情報共有・セキュリティ強化

法人⇄施設、法人⇄エリア、エリア⇄施設、施設⇄施設の情報共有を徹底し、認識を深めるとともに、それぞれの良い部分を見出し、各施設の運営に役立てるものとする。

平成29年度に整備したネットワークシステムについて、更新時期を迎えることから容量を増すと共に、セキュリティ強化のための諸施策を実施する。フォルダ、文書管理を徹底し、事務の効率化を図り、必要に応じて改善を図る。

2022年度中にプライバシーマークの取得を目指し、一層の充実に努める。

5-6 外部監査等

外部監査に関しては、平成17年度より取り組んでおり、年2回の監査を行っている。会計面を中心に透明性を高め、適正で尚且つ円滑な運営体制を構築する。会計監査人制度の導入に向けた取り組みを行い、現状としては専門家による助言を行うべく、公認会計士の選任を行っている。

5-7 顧問弁護士

ガバナンス、コンプライアンス関係の事案が多くなっていることから、顧問弁護士契約を見直し、改善を図ると共に、有効に活用し、円滑な運営、職員の安心感を増加させることとしたい。

5-8 労務管理

社会保険労務士とコンサルティング契約を行っているが、有効性等を検証し、役割について検討を加えていくこととする。必要に応じては、選任についても見直しを行い、円滑な労務管理、事務遂行が出来るような体制を整備する。

5-9 産業医

職員の健康管理は、非常に重要な課題であると共に、安心安全な職場環境の構築は非常に重要である。2018年度より産業医の契約を行っているが、安全衛生委員会の設置、運営などの適正な運用が求められる。メンタルヘルスチェックを実施し、改善に努めるものとする。

健康診断についてもチェックや助言をいただけるよう連携強化に努めるものとする。今後は、公認心理師(臨床心理士・カウンセラー等)の対応を含めて検討する。

5-10 第三者評価

第三者評価に関しては、2018年度諏訪ひかり保育園で実施したが、質の向上の観点からも必要な事項である一方で、地域においては評価機関が希薄であるなどの課題もあり、検討を要する。

各施設において、必要性を再確認し、具体的な実施計画の策定(実施目標年度)を行い、各種マニュアル、手順書の整備、改善等を通じて、円滑な運営、保育の充実を目指し、研修等を実施していくこととする。

ヒヤリハット事例をはじめとする、さまざまなケーススタディや安全対策を実践する。障がい児や特別に配慮支援を要する子ども(いわゆるグレーゾーンの園児・児童)への対応、業務効率化への対応、職員の相互理解・コミュニケーションの充実など現状の課題を理解しながら、諸課題に関して積極的な研修に努めていきたいと考えている。

6. 職員処遇改善への取り組み（重点施策の整合検証）

2017年度に取り組んだ、キャリアパスの制定・処遇改善、資格取得研修制度の充実について、2022年度の重点施策として取り組んでいく所存であるが、検証や改善を進めるとともに専門性の向上を図る。

具体的な取り組みとして、行政の諸施策への迅速な対応も行い、職員が働きやすく、充実した環境になるよう取り組み、福利厚生面のなお一層の充実を期し、コミュニケーションの一層の充実、メンタルヘルスケアに対応した研修、環境整備に努めることとしたい。

6-1 キャリアパス

保育士等専門性を高めるため、2015年度よりキャリアパスの基本作成、2016年度一部修正、2017年度には保育士・保育教諭に関して基本策定されたが、各施設での対応、他の職種（管理栄養士・栄養士・調理師、看護師、事務職、園務等）については、最終検討中であり、標準化と共に、地域事情、施設に応じた実践的な体制を構築し、給与規定の整備、研修制度の充実など積極的に推進する。

2022年度より全施設での導入を予定している。

6-2 職員カテゴリーの拡充

働き方改革、ワークライフバランスを尊重すると共に、所得税等の制度改正に伴う環境の変化に対応した、職場環境の整備に努め、関係職員への周知、説明を十分に行う。一人ひとりの充実した人生設計の構築の一助となるような取り組みを行いたい。

6-3 就業規則・給与規定の見直し、制定

働き方改革や処遇改善に伴う諸規定の見直しを行い、就業規則、給与規定に関して改善を継続するものとする。法人としての identity を大切にしつつ、地域事情を鑑みた規定の整備を推進する。

①基本給に関しては、俸給表の見直しと共に処遇改善手当の充実を期するものとする。（基本給＋処遇改善手当＝基本俸給）

②諸手当については、住宅手当の拡充等を行うと共に、昨年度に引き続き、諸手当の改定を行い、抜本的な見直しを行うこととする。

③学生支援機構の奨学金受給者が返済を行う際に、一定の補助を行うことなどの制度創設の検討、調査を行い、具体的な検討を行う。

6-4 資格取得研修制度の拡充

地域の実情に鑑みながら、施設ごとに保育士、幼稚園教諭、社会福祉主事任用資格等資格取得を奨励した資格取得研修制度を拡充し、研修休暇や受講料助成を充実させる。

児童厚生員（指導員）、子育て支援員など法人が認めた資格についても拡充する。

6-5 有給休暇・特別取扱いの充実

有給休暇の取扱いについて、柔軟性を増した取り組みを行うと共に、10日以上の有給休暇付与者に対して、年間5日以上の取得義務化をさらに定着させる共に、取得率の上昇を推進する。

- ①夏期休暇有効期間（4月～9月）
- ②特別休暇期間の試用期間中の取扱い強化（4月から可能）
- ③年休取得について、対応可能な施設においては、「半々休（2時間程度）」の年休取得を認めること。（運用上の課題）
- ④有給休暇の在り方、特別休暇増加の検討（2021年度以降）
- ⑤育休制度の充実（短時間対応延長）

6-6 福利厚生の実

①職員が、地域内の法人施設を利用する場合（病児病後児保育室、一時預かり事業など）に関して、一定割合の補助を検討し、実施可能な地域より取り組みを行うものとする。

②2016年度より、職員処遇の改善の一助として、メットライフ生命とアライアンスを組み、職員傷害保険などの充実を行うと共に、病気時のセカンドオピニオン、メンタルヘルス、カウンセリングなどを活用できる取り組みを行っている。

③2018年度より、産業医の委嘱を行うと共に、2019年度には、各地域における公認心理師・心理カウンセラーの配置検討を行っている。

④エフ休（female 休暇）の導入

⑤はぐくみ基金を活用した将来の安定した設計への取り組みを行う。

⑥えるぼし認定申請

⑦くるみん認定申請

6-7 自己申告・PDCAについて

年間の当初目標の設定を明確にして、PDCAサイクルを大切にした態勢を整備する。年間2回行っている自己申告、面接等に関する実施方法を検証し、風通しのよい組織作りを心掛ける。

キャリアパスの設計とも関係し、各施設での取り組みを行う。

7. 2022年度研修

専門性の向上と共に、メンタルヘルスなど健康面を配慮し、楽しさを持った研修、コンプライアンス研修を企画・計画し、有意義な研修を継続して行う予定である。キャリアパスに沿った形での研修もあり、勤務体制、現場での対応を含め具体的な研修計画は必要不可欠である。

管理職研修をはじめ、中間管理職、新入職員など職域、職階に合わせた研修を行うことが何より重要であり、具体的に取り組むこととする。

各施設においても、地域特性、現場ニーズに応えたユニークな研修の取り込み等を行うようにする。

7-1 法人研修

法人職員としての基本姿勢を学び、その基本として、

- 健康管理についての研修
 - コミュニケーション、チーム力アップ研修
 - コンプライアンス研修(個人情報保護等含む)
 - 「相手への思いやり、言葉遣い」「仕事への取り組み姿勢」
 - 職員個々のメンタルヘルスケア
 - アンガーマネジメント研修
 - チームビルディング研修
 - 体験型研修
 - 業務効率に関するスキルアップ
 - 音楽療法
 - 体育活動
 - 観劇
 - 国際対応取り組み
 - コンサート等感性育成
- を主な課題としてとりくみたい。

7-2 施設研修

専門性を向上させながら、互いに協調し合って、関係するすべての人が「笑顔」になるような取り組みが必要であると思われる。

(例示)

- 園児・利用者・関係する家族の目線を大切にした取り組み
- 基本技術のマスター(保育・教育に関する基本・繰り返し演習)
- ケーススタディの強化と共に予防策の構築
- 実践的な取り組み事例、情報交流
- ピアノ研修
- パソコン研修
- リトミック研修

*各施設で実践的な研修計画の策定

7-3 研修対象

新入職員、中堅職員等を対象ごとの研修プログラムを構築し、外部講師等を招いた研修、内部のOJT研修等を積極的に行うこととしたい。

7-3-1 管理職研修(重点課題)

管理職として必要な知識やスキルに関する研修を行い、情報交流を交え

て、それぞれの施設の質的向上を図るものとする。

- コンプライアンス委員会への対応
- 管理職としての心構え・基本知識(表情、発言に対する重み等)
- 言葉遣い、部下との接し方
- 保護者対応、新入園児への対応
- 国や県・市への対応
- 地域での活動

7-3-2 中堅職員研修

副主任、専門保育士・保育教諭、チーフとして、現場の責任者として、迅速な対応や判断が求められる。管理職との相談も重要な場面もあるが、培った経験力、知恵によることも多く、気をつけるべき課題について、現場力増強研修を特に進めていく。

- 「伝える力」増強＝保護者や上司・部下とのコミュニケーション
- 「判断力増強」いざという時の判断力は一朝一夕に出来るものではなくケーススタディなど実践的な研修を継続して行う。

7-3-3 新入職員

1年目～3年目を対象に、基本的なスキルの充実を図ることを主眼として、自信を持って職務を全うできるような実践的な取り組みを行う。OJTを中心に、それぞれの専門性を高めることとしたい。

- 社会人としての基本的な心構え⇒法人職員としての自覚と責任
- 専門職に生きる実践的なスキルの修得(OJT)
- ITスキル、個人情報保護などへの理解浸透

*チューター(メンター)の配置(学卒者を中心に助言、相談をしやすい体制づくり)

7-3-4 調理職員研修

園児や利用者にとって、食事やおやつは大きな楽しみの一つである。保育士・保育教諭との連携を密に、出来るだけ家庭的な内容を心掛ける。

- 献立や調理方法の工夫
- 他施設との連携や創意工夫
- 保育士・保育教諭との連携に関わること
- アレルギー児への対応・献立の工夫(誰もが食べれる食事)
- クッキングの立案実施(施設対応)
- 保護者との連携・相談

7-3-5 看護職員研修

看護師は、園児・利用者の健康管理を中心に、看護保育(保育看護)などの

対応に関して取り組みを行うこととしたい。

- 保育士・介護職員と連携した質の向上（ケーススタディ等の活用）
- 全国病児施設協議会をはじめ関係団体の研修への取り組み
- 地元医師会、公立病院との連携に関する研修
- 嘱託医との連携による専門性の向上
- 病児病後児保育事業の改善(手続き、中身の見直し)

8. 収益事業

マンション改修工事を行い環境改善を行っており、今後とも管理会社との連絡を密にし、連携を図る。

9. 新規事業・大規模修繕・環境整備について

施設整備については、随時改善、改修を加え安心・安全な環境整備の充実を図ることとする。主な課題と取り組みを掲げる。

外部不審者への対応、セキュリティの強化、駐車に関する注意喚起などを積極的に行うと共に、園庭・農園等の一層の整備・充実を考えている。

新規事業に関しては、対外折衝も必要であり、タイミング等の問題もあることから、随時進行、推進することとしたい。

9-1 豊岡エリア

- ① 児童複合施設(小規模保育園、放課後児童クラブ、子育て支援センター等)
- ② 児童館、妊婦の子育て相談などへの取り組みの具体化を検討する。
- ③ 婚活など地域のコミュニティへの積極的な関わりを行う。
(①～③についてはスマイリーハウス保育園、キッズガーデンと子育て支援センターの活用)
- ④ 豊岡市の在り方計画への対応
- ⑤ その他

9-2 神戸エリア

- ① 村雨こども園厨房関係整備（3年計画）
- ② おやこふらっとひろば須磨の更新への取り組み（須磨区役所内）
- ③ 神戸周辺エリアでの活動展開（新規事業への情報収集、児童保育コーナー）
- ④ 阪神各市町での取り組み
- ⑤ その他

9-3 首都圏エリア

- ① 諏訪ひかり保育園園庭整備、こども園化に向けた取り組み
- ② 東京都内での保育園等設置に対する具体的な取り組み
- ③ その他

10. サンタ（多機能・多施設・多地域）への取り組み（基盤整備）

本法人が実践しているサンタ（多機能・多施設・多機能）の取り組みのなお一層の充実が求められる。社会福祉法人の抜本的な改革に基づき、法人の機能、役割が変化すると共に、施設での業務内容の見直しを行い、業務の改善に努める。

情報共有を基本に、本年度中に中長期計画の策定、後継者時育成などを一つ一つの事案について、丁寧に取り組むを行いたい。

260名超の役職員が、多地域で10か所を超える施設の経営を推進していく為の環境整備、業務改善を行い、キャリアパスの導入をはじめ、職員が働き甲斐、やりがいを持てる法人としての確固たる存在となるような取り組みが重要になってきている。

保育・教育力の向上を基本に、地道な活動展開、職員一人ひとりの資質向上を図り、一人ひとりの役割を認識しながら、チームとしてなお一層力を発揮するための諸施策、計画の実施を行う所存である。

また、将来展望についても、大きな課題となっており、保育・教育事業以外への活路についても、2022年度は本格的に取り組むこととしたい。

職員は一人ひとりの園児・児童・保護者を大切に、法人は職員一人ひとりを大切に、職員それぞれ自主的に行動し、やりがいのある環境を創造し、その成果として、「こどもと家庭、地域が笑顔と幸せでつまれますように・・・」

11. 施設概要・目標

11-1 豊岡エリア

11-1-1 チャイルドハウスこども園

1. 児童関連

①保育方針

- 一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受け止め、成長過程に応じた、きめ細かく丁寧な教育・保育を行います。
- 子どもたちが興味・関心をもって、主体的に遊びこむことのできる環境を整えます。
- 保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら子どものよりよい成長につなげていきます。
- やりがい大切に、常に専門性の向上を図りながら、教育・保育を推進していきます。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	3名
1歳児	5名
2歳児	18名
3歳児	55名
4歳児	61名
5歳児	66名
合計	208名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	端午の節句・園外保育
6月	内科健診・歯科検診
7月	プール開き・夏まつり
8月	プール遊び・お楽しみ会（お泊り保育）＜5歳児＞
9月	運動会・園外保育
10月	芋ほり遠足・内科健診
11月	ハロウィン・園外保育
12月	クリスマス会
1月	お正月遊び
2月	節分・発表会＜幼児＞
3月	ひな祭り・卒園式

④給食関係（特色ある取組等）

○一汁三菜・手作りおやつ

○チャイルド農園・プランターでの作物栽培・収穫

○米づくり（田植え、稲刈り、釜焚き）＜5歳児＞

○食育活動や食指導の活動

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1 名
主幹保育教諭・主任保育士	3 名
副主幹保育教諭・副主任保育士	名
保育教諭・保育士・指導員	31 名
子育て支援員・保育補助	2 名
調理師（栄養士含む）	4 名
看護師	3 名
事務員	2 名
園務員	1 名
合計	47 名

②研修計画

○外部研修会への参加（保育実践・公開保育等）

○オンライン研修会を活用しての園内研修会の実施

（保育の質の向上・保育実践・救急蘇生法・防犯関係・アレルギーについて等）

○キャリアアップ研修の受講

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	15 名
-----------	------

②子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
部屋解放	160回
園庭解放	45回

③病児、病後児保育事業

受入予定者数	400 名
--------	-------

④その他事業

○育児相談

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○避難訓練（毎月1回）・引き渡し訓練（年間1回）

○設備安全点検・遊具安全点検（毎月1回）

○安全対策会議（毎月1回）

5. その他（環境整備等）

○各保育室の環境整備（遊び込める環境作り）

11-1-2 テラスハウス保育園

1. 児童関連

①保育方針

○一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受け止め、成長過程に応じた、きめ細かく丁寧な教育・保育を行います。

○子どもたちが興味・関心をもって、主体的に遊びこむことのできる環境を整えます。

○保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら子どものよりよい成長につなげていきます。

○やりがい大切に、常に専門性の向上を図りながら、教育・保育を推進していきます。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	15名
1歳児	17名
2歳児	21名
合計	53名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	子どもの様子を動画で伝えよう（保育参加の代替え）
6月	内科健診・歯科検診
7月	七夕の雰囲気味わおう なつまつりかいごっこ（動画配信）
8月	水遊び・子どもの様子を動画で伝えよう（保育参加の代替え）
9月	秋見つけに出かけよう（遠足）
10月	いっしょに遊ぼう会（乳児15日）

11月	秋の味覚を味わおう（芋ほり等）
12月	クリスマス会（動画配信）
1月	お正月遊びを楽しもう
2月	節分の雰囲気味わおう 1年間の子どもの育ちを動画で伝えよう
3月	おひな祭りの雰囲気味わおう 修了式（大きくなったね会）

④給食関係（特色ある取組等）

○クッキング、ミニクッキング、様々な食材に触れる等食育活動、食指導の取り組み。

○フ란ターでの季節の野菜栽培。

○一汁三菜、手作りおやつ、行事食、地域の伝統食等の献立の充実

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1名
主幹保育教諭・主任保育士	1名
保育教諭・保育士・指導員	16名
調理師（栄養士含む）	3名
看護師	1名
用務員（保育補助）	1
事務員	1名
合計	24名

②研修計画

○園内研修（保育実践事例検討・リズムダンス・衛生管理等）

○外部研修（キャリアアップ研修、公開保育研修等）

○その他研修（メンタルヘルス、防犯、救急対応他）

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	10名
-----------	-----

②子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
公開保育	8回（6.7.8.9.10.11.12.1月）
育児相談	随時

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○消防署との通報訓練・近隣学校との合同避難訓練

○引き渡し訓練

○不審者対応研修

○心肺蘇生法訓練

5. その他（環境整備等）

○屋外、室内環境に伴う備品購入

11-1-3 スマイリーハウス保育園

1. 児童関連

①保育方針

- 一人ひとりのこどもの気持ちを十分に受け止め、成長過程に応じた、きめ細かく丁寧な教育・保育を行います。
- こども達が興味・関心をもって、主体的に遊びこむことのできる環境を整えます。
- 保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら、こどものより良い成長につなげていきます。
- やりがい大切に、常に専門性の向上を図りながら、教育・保育を推進していきます。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	7名
1歳児	6名
2歳児	7名
合計	20名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	お散歩に出かけよう
6月	内科健診・歯科検診
7月	夏祭りの雰囲気味わう
8月	水遊びを楽しむ
9月	(親子で) からだを動かしてあそぼう
10月	(親子で) 出かけよう
11月	いもほり等秋の味覚に触れる
12月	クリスマスの雰囲気味わう
1月	お正月の雰囲気味わう
2月	節分の雰囲気味わう
3月	大きくなったね会

④給食関係（特色ある取組等）

ミニクッキング、クッキング、ミニ菜園での野菜栽培、食指導の実施

一汁三菜、手作りおやつ

季節・行事を感じられるメニューの提供

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1	名
保育教諭・保育士・指導員	8	名
調理師（栄養士含む）	1	名
合計	10	名

②研修計画

保育実践へつながる外部研修、キャリアアップ研修、公開保育等への積極参加

園内研修（事例検討）

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	10名
-----------	-----

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

避難訓練（火災、地震、台風等）（月1回）

引き渡し訓練（年1回）

安全対策会議（月1回）

防犯、救急蘇生法（各年1回）

5. その他（環境整備等）

砂場の砂の補充（年1回）

11-1-4 スプリングハウス保育園

1. 児童関連

①保育方針

*ひとり一人のこどもの気持ちを十分に受け止め、成長過程に応じた、きめ細かく丁寧な保育を行います。

*子どもたちが、興味・関心を持って主体的に遊びこむことができる環境を整えます。

*保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら子どものよりよい成長につなげていきます。

*やりがい大切に、常に専門性の向上を図りながら教育・保育を推進します。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	5名
1歳児	5名
2歳児	4名
合計	14名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	保育参加
6月	内科健診、歯科検診
7月	水遊び、プール遊び
8月	水遊び、プール遊び・夏まつりごっこ
9月	親子でふれあい遊び
10月	ハロウィン、秋の自然に触れよう
11月	保育参加、秋の収穫体験
12月	クリスマス会
1月	お正月遊び
2月	まめまき会・保育参加（懇談会）
3月	修了式・ひな祭り会

④給食関係（特色ある取組等）

○一汁三菜

○旬や季節の行事に合った食事、クッキングや食育指導、ミニ菜園での収穫等

○手づくりおやつを提供

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1名
保育教諭・保育士・指導員	8名
看護師	2名
合計	11名

②研修計画

○園内研修（手遊び、ダンス等の保育実技・保健安全研修等）

○外部研修（キャリアアップ研修、公開保育研修他）

○交流研修（メンタルヘルス、防犯、救急対応他）

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	5名
-----------	----

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○月1回火事、地震、洪水等の避難訓練

○引き渡し訓練（9月予定）、不審者訓練（年2回）

○消防署との総合訓練

5. その他（環境整備等）

○園庭遊具設置

○ウッドデッキ防腐修繕

11-1-5バンビーノハウス保育園

1. 児童関連

①保育方針

○一人ひとりの子どもの気持ちを十分に受け止め、成長過程に応じた、きめ細かく丁寧な教育・保育を行います。

○子どもたちが興味・関心をもって、主体的に遊びこむことのできる環境を整えます。

○保護者との信頼関係を築き、連携を取りながら子どものよりよい成長につなげていきます。

○やりがい大切に、常に専門性の向上を図りながら、教育・保育を推進していきます。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	7名
1歳児	9名
合計	16名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	端午の節句・お散歩に出かけよう
6月	内科健診
7月	七夕・水遊び・プール遊び・夏まつりごっこ
8月	水遊び・プール遊び
9月	お散歩に出かけよう

10月	ハロウィン・内科健診
11月	秋の味覚にふれよう
12月	クリスマス
1月	お正月遊び
2月	節分
3月	ひなまつり・おおきくなったね会

④給食関係（特色ある取組等）

- 一汁三菜・手作りおやつ
- ミニクッキング・旬の食材に触れる
- 個々に応じた食事提供

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1名
保育教諭・保育士・指導員	7名
合計	8名

②研修計画

- 外部研修会への参加（保育実践・公開保育等）
- チャイルドハウスこども園との合同園内研修会の実施
（保育実践・救急蘇生法・防犯関係・アレルギーについて等）
- キャリアアップ研修の受講

3. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

- 避難訓練（毎月1回）・引き渡し訓練（年間1回）
- 設備安全点検・遊具安全点検（毎月1回）
- 安全対策会議（毎月1回）

4. その他（環境整備等）

- 保ふく室の環境整備（遊び込める環境作り）

11-1-6 放課後児童クラブ「キッズガーデン」

1. 児童関連

①保育方針

- 家庭的な雰囲気の中で、遊んで学ぶ子どもの広場

②学年編成予定

	予定児童数
幼稚園児	0 名
1年生	17 名
2年生	18 名
3年生	16 名
4年生	4 名
5年生	8 名
6年生	1 名
合計	64 名

③主な行事予定

4月	はじめまして会
5月	但馬ドーム
6月	途中が丘公園
7月	円山川公苑プール・制作活動
8月	磯観察・お楽しみ遠足
9月	園内活動
10月	紅葉狩り
11月	魚っ知館
12月	クリスマス会
1月	ななえの学校
2月	円山川公苑スケート
3月	お別れ会

2. 職員関連

①職員構成

施設長	1 名
指導員	4 名
その他職員	2 名
合計	7 名

②研修計画

○放課後児童支援員認定資格研修

○ピアノ研修

3. 特別保育事業

①その他事業

○キッズガーデン体操教室

11-2 神戸エリア

11-2-1 村雨こども園・村雨こども園愛分園・村雨こども園なぎさ分園

1. 児童関連

①保育方針

一人一人の子どもの気持ちを十分に受けとめ、子どもの発達や人との関わりを大切にしたい、丁寧な教育保育に努めます

②クラス編成予定

令和4年4月1日現在

	予定園児数		
	村雨こども園	村雨こども園愛分園	村雨こども園なぎさ分園
0歳児	9名	4名	2名
1歳児	14名	6名	4名
2歳児	27+3名	名	4名
3歳児	26+9名	名	8名
4歳児	28+2名	名	8名
5歳児	21+7名	名	5名
合計	125+21=146名	10名	31名

※村雨こども園の+○の人数は1号認定数

③主な行事予定

4月	進級式 入園式
5月	保育参加・給食試食会 須磨区5歳児交流会
6月	歯みがき指導 個別懇談 プラネタリウム見学
7月	七夕会 夏まつり プール開き オープン保育
8月	プール遊び 水遊び 地域プール遊び開放
9月	地域高齢者施設訪問交流会
10月	運動会 いもほり 須磨区5歳児交流会 親子保育体験
11月	敬老交流会 秋の遠足
12月	おおきくなったよ(0,1歳児) クリスマス会 地域福祉センタークリスマス会
1月	お正月遊び よいこの集い
2月	豆まき 音楽会・生活発表会(2,3,4,5歳児) 山のぼり
3月	ひなまつり会 お別れ遠足 お別れ会・バイキング 卒園式

④給食関係(特色ある取組等)

- 屋上菜園やプランターでの季節ごとの作物栽培と収穫を行う
- 収穫作物を使用しての給食提供やクッキング保育への取り組み
- 行事食・地域の食産物・伝統食等の伝承
- 各年齢に応じた食育活動や食指導の取り組み

2. 職員関連

①職員構成

令和4年4月1日現在

園長（施設長）	1 名	
主幹保育教諭	2 名	
副主幹保育教諭	1 名	(1)育休中
保育教諭	38 名	(1)産前休
調理師（栄養士含む）	7 名	
子育て支援員	1 名	
保育補助	1 名	
事務員・園務員	1 名	
合計	52 名	

②研修計画

- オンライン研修（OJT 含む）、分野別、経験年数別園内研修の取り組み
- 人事評価制度トライアルに係る評価者研修と職員のキャリアデザイン研修の実施
- 教育保育の質の向上を目指してのキャリアアップ研修の積極的な受講推進
- 外部講師による研修会

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	80 名
-----------	------

*新型コロナウイルス感染状況に応じて予約人数を変動させます。

②子育て支援事業【村雨こども園内】

事業名又は内容	年間開催予定回数
こども園行事への参加(七夕会・クリスマス会・ひなまつり会)	各1回
プール開放（地域の親子0,1,2歳児）	7月1回・8月1回
親子ふれあい保育体験（地域の親子0,1歳児15組）	8月・10月各2回シリーズ
着ぐるみ人形劇（劇団バク）	年1回
園庭開放 / 一時保育 / 育児相談	毎週月曜日/(月)～(土)

③その他事業

- 神戸市からの運営委託事業「おやこふらっとひろば須磨」
（須磨区役所にて親子のあそびのひろばやママカフェ、パパのイベント、相談業務からの関係機関との連携等々の業務を行う）

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

- 避難訓練マニュアル見直し作成と実施（火災・地震・津波・不審者）
- 心肺蘇生法・AED操作実施訓練（市民救命救急）
- アレルギー児緊急対応訓練（エピペン講習）
- 睡眠時におけるSIDS対応訓練

5. その他（環境整備等）

- 砂場の砂の補充（年間2回）
- 地上園庭・屋上園庭遊びの環境整備・備品購入
- 本園の外壁整備

11-2-2 村雨ほほえみ保育園

1. 児童関連

①保育方針

一人一人の子どもの気持ちを十分に受けとめ、丁寧な関わりと成長過程を大切にした保育をおこないます。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	6名
1歳児	6名
2歳児	7名
合計	19名

③主な行事予定

4月	入園式（村雨こども園と合同）
5月	保育参加
6月	個別懇談 内科健診 歯科健診
7月	七夕 水遊び プール遊び オープン保育
8月	夏まつり 水遊び プール遊び
9月	
10月	運動遊び保育参加 内科健診
11月	敬老交流会 秋の遠足
12月	クリスマス会
1月	お正月遊び
2月	おおきくなったよ 節分豆まきごっこ
3月	ひなまつり会 お別れ遠足 お別れ会

④給食関係（特色ある取組等）

○年齢、発達に応じた食育を実施（食材に触れる、ミニクッキング）

○プランターでの野菜の栽培と収穫した野菜の提供

○季節・行事を感じられるメニューの提供と盛りつけの工夫

2. 職員関連

①職員構成

管理者	1 名	
保育教諭・保育士・指導員	8 名	
調理師（栄養士含む）	1 名	
合計	10 名	

②研修計画

○保育の質の向上を目指してのキャリアアップ研修の積極的な受講

○保育実践、知識技術を深めることにつながる園外研修への参加

○保育内容に関する園内研修、検討会の実施

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	10 名
-----------	------

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○避難訓練計画作成と実施（火災・地震・水害・津波・不審者対応）

○睡眠時における SIDS 対応訓練、園外での救急対応訓練、アレルギー児緊急対応訓練

○心肺蘇生法、AED 使用法の園内研修

5. その他（環境整備等）

○年齢別保育も充実するよう、遊具備品配置を工夫した室内環境整備

11-2-3 松風児童館・松風児童館分館

1. 児童関連

① 保育方針

家庭的なぬくもりを大切にしながら、子ども同士の関わり触れ合いを通じて、楽しく生活し学べる放課後児童クラブを目指す。

② 学年編成予定

	予定児童数	
	本館	分館
1年生	29名	17名
2年生	29名	17名
3年生	10名	4名
4年生	8名	10名
5年生	7名	0名
6年生	0名	0名
合計	83名	48名

③ 主な行事予定

	学童行事	児童館行事
4月	進級・入所式	みんなであそぼう
5月	まつリンピック	感触あそび
6月	保護者会	プレゼント工作
7月	個別懇談 おやつパーティー 遠足	夏まつり
8月	交通安全教室 怖いおはなしの会 本館分館交流日	源平夏まつり
9月	まつリンピック	ミニ運動会
10月	放課後児童クラブ入会説明会	ハロウィンパーティー
11月	廃材工作	自然物工作
12月	おやつパーティー	クリスマス会 児童館クリーン作戦
1月	まつリンピック 本館分館交流日	お正月あそび
2月	地域交流会（西須磨小学校）	プレゼント工作
3月	おやつパーティー おわかれ遠足	地域交流会 児童館クリーン作戦
毎月	お誕生会 防犯防災保健等の安全指導	おりがみカレンダーづくり 伝承あそびにチャレンジ

2. 職員関連

①職員構成

施設長	1	名
施設長補佐	2	名
指導員	1	名
その他職員	9	名
合計	13	名

②研修計画

- 市内・区内研修、館外の研修への積極的参加
- 本館・分館の毎月の育成検討会 事例検討を行い具体的に子どもや保護者への対応ができるようにしていく
- 職員それぞれの課題に合った館内研修

3. 特別保育事業

①子育て支援事業

- なかよしひろば（年 106 回実施予定）

親子のあそび場の提供

	実施内容
月曜日	園庭開放 せんせいとあそぼう
水曜日	おべんとうひろば せんせいとあそぼう
金曜日	発育測定（月 1 回） せんせいとあそぼう

- すこやかクラブ（年 33 回実施予定）

登録制の子育て支援事業

月	日	プログラム	持ち物 等	備考
5	12	開講式		
	19	たんけんごっこ		
	26	わらべうたあそび		
6	2	子育て講座		
	9	感触あそび	汚れてもいい服装・タオル	
	16	プレゼント工作		
	23	歯の健康教育	歯ブラシ・タオル・汚れてもいい服装	講師：歯科衛生士
	30	新聞あそび		
7	7	七夕あそび		
	14	夏まつりごっこ		
9	8	交通安全教室	動きやすい服装	講師：須磨警察署

	15	音楽あそび		
	22	運動会工作		
	29	運動会ごっこ	動きやすい服装	
10	6	食育講座		講師：栄養士
	13	しゃぼん玉あそび		
	20	ハロウィン工作		
	27	ハロウィンあそび		
11	10	ママプログラム①		
	17	ふうせんあそび		
	24	ママプログラム②		
12	1	クリスマス工作		
	8	ママプログラム③		
	15	クリスマス会		
1	12	お正月あそび		
	19	布あそび		
	26	防災講座		
2	2	節分あそび		
	9	親子工作～終了記念品を作ろう～		
	16	ニン★ニン忍者ごっこ	動きやすい服装	
3	3	遠足～消防署見学～		行先：須磨消防署
	10	修了式		

○親子イベント（年 10 回実施予定）

親子あそびや、講師を招いての子育て講座などを実施

実施月日	イベント名	イベント内容	定員
4/26(火)	おたのしみシアター	パネルシアターや大型絵本などのお話を親子で楽しむ	15組
5/31(火)	体操あそび	親子でふれあいながら体を動かして楽しむ	15組
6/28(火)	新聞紙あそび	新聞紙を使って親子であそぶ	15組
7/12(火)	親子エアロビクス	親子でふれあいながら心身のリフレッシュをはかる	15組
9/27(火)	ベビーマッサージ	赤ちゃんとコミュニケーションをとりながらマッサージを実施	10組
10/25(火)	子育て講座	子育てについての情報交換 親子でのコミュニケーションの取り方について	15組
11/22(火)	ふうせんあそび	風船をつかった工作やおやこあそび	15組
12/19(月)	クリスマス会	クリスマスのお話 親子で楽しめるクリスマスのあそび	15組
1/31(火)	伝承あそび	わらべうたや伝承あそびを親子で楽しむ	15組
2/28(火)	親子リトミック	楽器の音色や音楽を聴きながら親子でふれあいこどもの表現力を育む	15組
3/14(火)	食育講座	基本的な栄養と健康的な食事について	10組

4. およこふらっとひろば事業

○神戸市からの運営委託事業「およこふらっとひろば須磨」

須磨区役所内にて親子のあそびのひろばやママカフェ、パパのイベント、関係機関との連携を行う

①主な行事予定

実施月日	講座名	講座内容	定員	備考
4/19(火)	親子エアロビクス	親子でふれあいながら、心身のリフレッシュをはかる	15組	予備 4/21(木)
5/18(水)	リトミック	楽器の音色や音楽を聴きながら親子でふれあい、子どもの表現力を育む	15組	
6/17(金)	歯の健康教室	乳幼児期の虫歯予防についての講座、はみがきの指導	15組	
7/15(金)	ベビーマッサージ	赤ちゃんとのコミュニケーションをとりながらマッサージを実施	10組	予備 7/21(木)
8/16(火)	絵本講座	絵本の選び方やおすすめの絵本などの紹介	15組	予備 8/30(火)
9/28(水)	離乳食講座	離乳食の作り方や食べさせ方について	5組	すまカフェ
10/18(火)	子育て講座	子育てについての情報交換 親子でのコミュニケーションのとり方について	15組	予備 10/21(金)
11/17(木)	食育講座	基本的な栄養の話と健康的な食事について	5組	すまカフェ
12/20(火)	リトミック	楽器の音色や音楽を聴きながら親子でふれあい、子どもの表現力を育む	15組	予備 12/26(月)
1/25(水)	防災講座	地震などの災害が起こった時の対応の仕方について	15組	
2/16(木)	親子エアロビクス	親子でふれあいながら、心身のリフレッシュをはかる	15組	予備 2/21(火)
3/17(金)	ベビーマッサージ	赤ちゃんとのコミュニケーションをとりながらマッサージを実施	10組	予備 3/30(木)
3/28(火)	離乳食講座	離乳食の作り方や食べさせ方について	5組	すまカフェ

②主な講座予定

実施月日	講座名	講座内容	定員	備考
4/19(火)	親子エアロビクス	親子でふれあいながら、心身	15組	予備 4/21(木)

		のリフレッシュをはかる		
5/18(水)	リトミック	楽器の音色や音楽を聴きながら親子でふれあい、子どもの表現力を育む	15組	
6/17(金)	歯の健康教室	乳幼児期の虫歯予防についての講座、はみがきの指導	15組	
7/15(金)	ベビーマッサージ	赤ちゃんとのコミュニケーションをとりながらマッサージを実施	10組	予備 7/21(木)
8/16(火)	絵本講座	絵本の選び方やおすすめの絵本などの紹介	15組	予備 8/30(火)
9/28(水)	離乳食講座	離乳食の作り方や食べさせ方について	5組	すまカフェ
10/18(火)	子育て講座	子育てについての情報交換 親子でのコミュニケーションのとり方について	15組	予備 10/21(金)
11/17(木)	食育講座	基本的な栄養の話と健康的な食事について	5組	すまカフェ
12/20(火)	リトミック	楽器の音色や音楽を聴きながら親子でふれあい、子どもの表現力を育む	15組	予備 12/26(月)
1/25(水)	防災講座	地震などの災害が起こった時の対応の仕方について	15組	
2/16(木)	親子エアロビクス	親子でふれあいながら、心身のリフレッシュをはかる	15組	予備 2/21(火)
3/17(金)	ベビーマッサージ	赤ちゃんとのコミュニケーションをとりながらマッサージを実施	10組	予備 3/30(木)
3/28(火)	離乳食講座	離乳食の作り方や食べさせ方について	5組	すまカフェ

5. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

- 非常時の職員の対応訓練
- 様々な時間帯での避難訓練
- 子どもたちが自身で意識を持ち、実践できる安全指導

6. その他（環境整備等）

- 感染対策徹底のためのコーナーの整備
- 玩具、遊具、本の整理・補充

11-3 首都圏エリア

11-3-1 諏訪ひかり保育園

1. 児童関連

①保育方針

○一人ひとりのこどもの家庭環境、発達に配慮し、ふさわしい活動の場を保障し、豊かな人間性を持ったこどもを育成します。

○心と体の自立を促し、生きる力をつけます。

○保護者とのコミュニケーションを密にとり、こどもの育ちに共感し合いながら、子育て、親育ちを行います。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	6名
1歳児	12名
2歳児	12名
3歳児	24名
4歳児	24名
5歳児	18名
合計	96名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	こどもの日・親子遠足・内科健診・保育士体験
6月	じゃがいも掘り・歯科検診・保育士体験
7月	七夕・プール開き・お泊り保育・夏祭り・保育士体験
8月	卒園児交流会・引き取り訓練
9月	
10月	運動会・いもほり・遠足
11月	内科健診
12月	発表会（2～5歳）・クリスマス会
1月	もちつき
2月	節分・クラス参観（0～1歳）
3月	卒園式

④給食関係（特色ある取組等）

○収穫した野菜を使い、食材を五感で感じるクッキング

○マナーレストラン

○地域の方との味噌づくり・芋煮会・諏訪カレー作り

2. 職員関連

①職員構成

園長	1 名
副園長	1 名
主任保育士	1 名
副主任保育士	1 名
保育士	20 名
事務	3 名
栄養士	0 名
看護師	2 名
用務員	2 名
合計	31 名

②研修計画

○キャリアアップ研修

○保育のデザイン研究所のオンラインによる園内研修（全体・クラス・個人）

○外部講師による研修（保健衛生・救急救命・リトミック・ピアノ・体操・絵画）

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	100名
-----------	------

②子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
あそぼう会（園庭開放・子育て相談）	10回

③病児、病後児保育事業

受入予定者数	100 名
--------	-------

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○避難訓練（火災・地震・竜巻・不審者対応）消火訓練 年12回

○和光市引き取り訓練 年1回

○交通安全教室・救急救命講習・不審者講習・消防訓練 各年1回

○消防点検 年2回

5. その他（環境整備等）

○遊具点検（業者による月1回定期点検）

○害虫駆除（ハチ・ネズミ）*ネズミに関しては月1回定期的に駆除

○床のワックスがけ

11-3-2 さいたま保育園（独立行政法人国立病院機構埼玉病院院内保育園）

1. 児童関連

①保育方針

- 子供一人ひとりの自立を促し、意欲や協調性を育てる。
- 異年齢保育を通してともに育ちあえる環境を整える。
- 子供が過ごしやすい、家庭的な雰囲気を作る。
- 個々の生活状況を把握し、子供の情緒の安定を図る。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	9名
1歳児	30名
2歳児	30名
3歳児～5歳児	18名
合計	87名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	こどもの日集会、小遠足、園児健診
6月	じゃがいも掘り、歯科検診
7月	七夕まつり、プール開き
8月	夏祭り
9月	
10月	運動会、ハロウィンパーティー
11月	園児健診
12月	クリスマス会
1月	
2月	節分、懇談会
3月	卒園式、お別れ遠足、ひなまつり

④給食関係（特色ある取組等）

- 世界の料理、郷土料理、絵本給食
- プランターでの野菜作り

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1名
園長補佐（施設長補佐）	1名

主幹保育教諭・主任保育士	名
副主幹保育教諭・副主任保育士	1 名
保育教諭・保育士・指導員	25 名
子育て支援員	1 名
調理師（栄養士含む）	4 名
事務員	5 名
合計	38 名

②研修計画

○保育のデザイン研究所（オンライン研修）

○園内研修

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	20名
-----------	-----

②その他事業

○準夜、夜間保育

○日曜保育・コロナ緊急時一時保育

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○月1回避難訓練（地震・火災・不審者等）

○和光市一斉引き取り引き渡し訓練

5. その他（環境整備等）

2022年度より定員87名へと定員減少を行う。今後に向けた保育内容や地域連携等も含め検討が必要となってくる。

11-3-3 つくしんぼ保育所（国立国際医療センター国府台病院院内保育所）

1. 児童関連

①保育方針

一人ひとりに寄り添った保育と発達を保障し集団の中で社会性を育てる。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	3名
1歳児	9名
2歳児	8名
3歳児	1名
4歳児	6名
5歳児	6名
合計	33名

③主な行事予定

4月	入所式
5月	こどもの日 春の遠足
6月	プール開き じゃが芋堀
7月	七夕 お泊り会（4・5歳児）
8月	
9月	秋祭り 十五夜
10月	運動会 秋の遠足 十三夜 お芋ほり
11月	焼き芋
12月	生活発表会 お餅つき クリスマス会
1月	お餅つき
2月	節分 お店屋さんごっこ
3月	ひなまつり お別れ遠足 お別れ会 卒所式

④給食関係（特色ある取組等）

○季節の食材を取り入れた、完全手作り給食

○地域の方のご厚意により、色々な野菜の生育や収穫を体験し、調理を行う

○お米作りや十五夜・十三夜・お餅つきなど日本の伝統的な文化に触れる

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1名
主幹保育教諭・主任保育士	1名

保育教諭・保育士・指導員	10名
子育て支援員	名
調理師（栄養士含む）	2名
用務員	名
合計	14名

②研修計画

○キャリアアップ研修

○不審者対応研修

○保護者対応研修 他

3. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○毎月の避難訓練（地震・火災・不審者・水害）

○警察による交通安全指導・不審者指導

4. その他（環境整備等）

○施設内外の安全チェック及び衛生管理、消毒

○布団乾燥（月1回）

○砂場の砂補充

11-3-4 おおつかほうゆう保育園

1. 児童関連

①保育方針

- ・子どもの生きる力の基礎を育てる。
- ・一人一人のこどもの家庭環境・発達に配慮しふさわしい活動の場を保障する。
- ・地域の身近な人たちとの関りの中で、コミュニケーション能力や地域を想う心を育む。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	0名
1歳児	9名
2歳児	0名
3歳児	1名
4歳児	1名
5歳児	0名
合計	11名

③主な行事予定

4月	入園式
5月	こどもの日・内科検診（全園児）
6月	保育参観・歯科検診（全園児）
7月	七夕会・水遊び
8月	夏祭り・水遊び
9月	敬老の日・引き渡し訓練
10月	運動会・秋の遠足
11月	内科検診（全園児）
12月	クリスマス会
1月	お正月あそび
2月	節分・個別懇談
3月	ひな祭り・お別れ遠足・卒園式

④給食関係（特色ある取組等）

○一汁三菜・手作りおやつ

○プランターで食材を育て、旬の食材に触れ、料理になる過程を体験する

○個々に応じた食の成功体験を増やす取り組み

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1	名
園長補佐（施設長補佐）	0	名
主幹保育教諭・主任保育士	1	名
副主幹保育教諭・副主任保育士	0	名
保育教諭・保育士・指導員	12	名
子育て支援員	0	名
調理師（栄養士含む）	3	名
看護師	1	名
用務員	0	名
事務員	1	名
合計	19	名

②研修計画

○保護者対応・保護者支援研修

○SIDS・ヒヤリハット研修 ○保健給食研修

○キャリアアップ研修

3. 特別保育事業

①子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
育児不安の軽減：保育体験	6回予定
保育人材の確保・育成：保育拠点支援	年3人以上

②その他事業

○休日保育

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○ 避難訓練 ○自治体災害時対応計画参加

○交通安全教室計画 ○保育士 AED 使用体験計画

○不審者対応計画 ○保育士消火訓練実技体験計画

11-3-5 もんなかほうゆう保育園

1. 児童関連

①保育方針

- ・こどもの生きる力の基礎を育てる。
- ・一人一人のこどもの家庭環境・発達に配慮しふさわしい活動の場を保障する。
- ・地域の身近な人たちとの関わりの中で、コミュニケーション能力や地域を想う心を育む。

②クラス編成予定

	予定園児数
0歳児	0名
1歳児	5名
2歳児	8名
3歳児	6名
4歳児	4名
5歳児	2名
合計	0 25名

③主な行事予定

4月	開園式・入園式
5月	こどもの日
6月	親子レクリエーション
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	十五夜
10月	十三夜
11月	七五三、秋の遠足
12月	クリスマス会
1月	もちつき
2月	節分
3月	ひなまつり、お別れ遠足、卒園式

④給食関係（特色ある取組等）

○バルコニーでの野菜栽培と収穫（プランターで育てられるもの）

○セミバイキングの実施

○地域の畑での野菜栽培と収穫

2. 職員関連

①職員構成

園長（施設長）	1	名
園長補佐（施設長補佐）		名
主幹保育教諭・主任保育士	1	名
副主幹保育教諭・副主任保育士		名
保育教諭・保育士・指導員	7	名
子育て支援員		名
調理師（栄養士含む）		名
看護師		名
用務員		名
事務員		名
合計	9	名

②研修計画

○園内研修

○キャリアアップ研修

3. 特別保育事業

①一時預かり事業

受入予定者数（月）	名
-----------	---

②子育て支援事業

事業名又は内容	年間開催予定回数
マイ保育園ひろば	6回

③病児、病後児保育事業

受入予定者数	名
--------	---

④その他事業

○緊急一時保育

4. 安全管理（避難訓練、安全教育等計画）

○地震・火災・水害・台風等想定避難訓練（年12回）、不審者対応訓練（年2回）

○園内安全チェックリスト実施

○ヒヤリハットの共有